

報告要旨

日時：2024年2月6日（火）

場所：オンライン開催

池田恵子（静岡大学）

「社会経済変動のなかの女性への暴力」

Bangladeshでは、顕著な経済成長と社会開発が続くなかで、女性の状況が急激に改善している。それにもかかわらず、女性に対する暴力には目立った改善がみられず、家庭外で起こる暴力やインターネット・SNSを使用した新しい暴力も増加している。その背景には、躍進目覚しい輸出向け縫製業を舞台にした女性の大量労働力化とそれに伴う若年女性の都市への移住、高等教育の普及などがある。

本報告は、2000年代から地方都市で行われるようになった調停とその担い手である地方NGOや地方組織の職員や活動家の視点から、女性への暴力の実態を示し、女性への暴力という切り口から、Bangladeshの社会経済変動による女性の状況の変化を描く。女性たちにとって調停を通して地域NGOや地域組織と関わるのが、正義へのアクセスだけではなく、これまでの開発政策・女性政策が重視してこなかった、社会保護システムの創出という側面を持つ可能性を提示する。